

アーケードの撤去を行なう範囲は、伝統的建造物が数多く残されており、アーケードを撤去すれば、重要伝統的建造物群保存地区としての選定が十分可能であったが、選定当時は歴史的景観を活かしたまちづくりについて関心が薄く、アーケードの撤去が行なわれなかった。

その後、伝統的建造物群保存地区において保存修理事業により来訪者の増加がみられ、また、伊能忠敬が測量した街道を活かしたまちづくりが夢街道モデル地区に認定され、さらに、まちづくり総合支援事業により歴史的景観を活かしたまちづくりを進める打吹地区歩行ネットワークとして位置づけられ、歴史的景観を活かしたまちづくりについて関心が高まりつつある。

以上により、当地区においては、街なみ環境整備事業と連携して歴史的景観を活かしたまちづくりを進める上で、アーケードの撤去を実施する。



見事な格子の町屋



レトロな看板が並ぶ



見事な格子の町屋



道路の先が見通せない

凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:red;"></span>	特徴的な建物
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow;"></span>	事業箇所



あきない中心倉の活動拠点



アーケードが視界をふさぐ



修景が施されている町屋



町屋の前を電信柱がふさぐ